

# つながる♡つながる♡やりとり

～iPhoneを活用したコミュニケーション～



三重県立特別支援学校 北勢きらら学園

小学部 上嶋 早苗

## 対象生徒

- ・ 中学部1年生 男子
- ・ 脳性麻痺が主障害、歩行器を使用している
- ・ 伝えられている内容が理解できないと、怒る・泣く座り込むことがある
- ・ ことばでの表出がほとんどない
- ・ パターンに入りやすく、変化が苦手
- ・ 好きなことは、食べること・ブランコ・ゲーム

## なぜ「iPhone」！？

小学部4年生まではカードを使用  
→思いを伝えられる、何をするか分かる



- ・カードが増えれば増えるほど持ち運びができない
- ・自分の「ことば」なのに、誰かに持って来てもらわないといけない... →

## 「iPhone」は...

- ・歩行器を使っている場合でも、首からかけられいつでも持ち運べる。
- ・音声も出るので分かりやすい。シンボルも拡大される。
- ・軽量で何枚シンボルを入れても、重さも大きさも変わらない。

コミュニケーション  
ツール

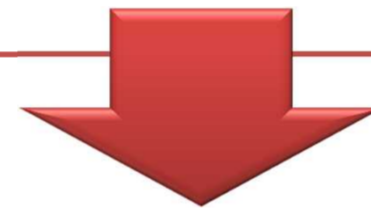




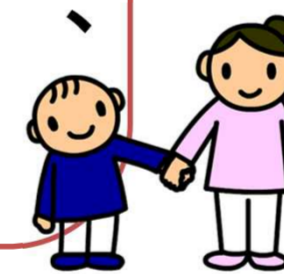
## 今日の内容



コミュニケーションツール(iPhone)



- ①学校
- ②家庭
- ③校外(買い物)
- ④関係機関(支援先)...療育センター、  
放課後ディサービス、移動支援



## 学校編



## 学校での表出

小学部5年生からiPhoneを活用する  
iPhone→声のでる、操作がしやすい  
どこでも使える

やりとりがわかってくる



「伝えれば、叶う」



誰かに気持ちを汲んでもらう、決めてもらう、でもない...

自己選択

伝えようとする意欲が高まる

## 表出

伝わらない時何とか伝えようとするが出てきた

気づいてもらえない時は、「ハイ」と声を出し呼ぶ

声が小さい時はスピーカーの電源を自分で入れる

何度も押して伝えようとシンボルの連打する

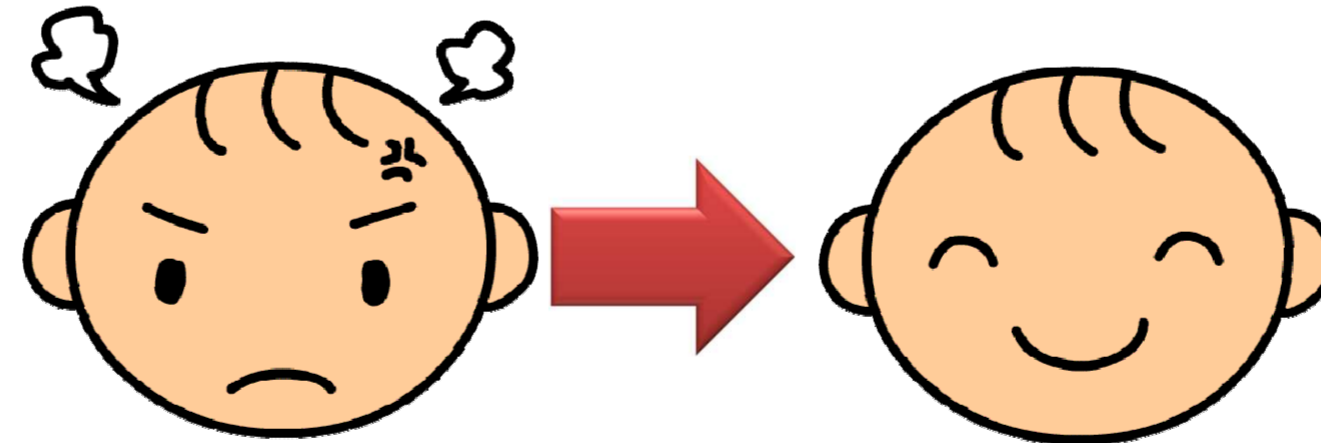
肩や体を叩いて呼ぶ

相手を意識する



## 学校の変化...

- ・自ら動けるだけでなく、怒ることが減ってきた  
(特別な日課でも分かる)
- ・怒っても、切り換えるまでの時間が短くなってきた
- ・やってもらうばかりでなく、やれることも増えてきた



## 学部が変わって

同じ学校、同じ教育課程...

しかし

変化が苦手

新しいことが  
苦手

教員のやり方が  
微妙に変わる

- ・戸惑い、スケジュールや教員のシンボルを連打。
- ・何度もスケジュールを確認する。

しかし、変わらないiPhoneツールがある

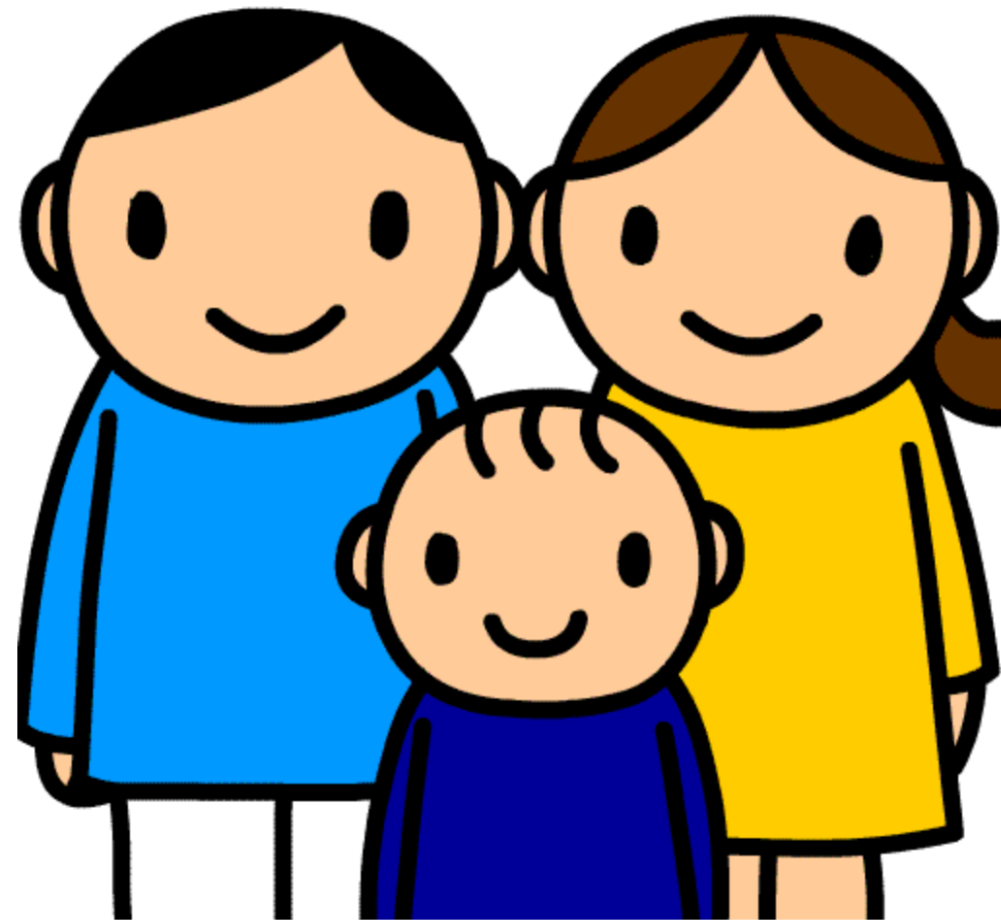


- 表出が増えてはいないが、同じように給食の場面、ブランコの場面で伝えられる。
- 受身になっていることもあるが、怒ってパニックになることは少ない。

使っていく中で、理解されてくることも



## 家庭編



## おやつ時間

スケジュールで確認して、自分で動く

動画



誰かに言われてではなく、自分で納得して(分かって)動く。

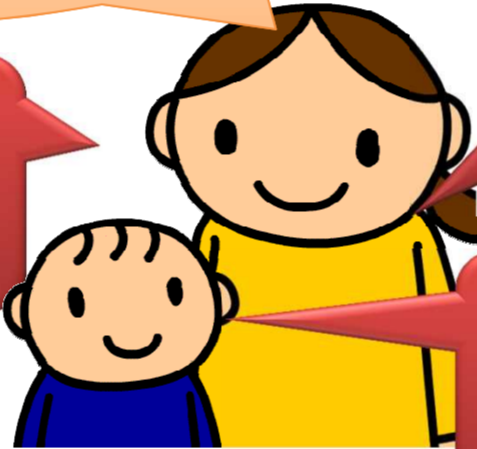


怒ったり、泣いたりすることが減る

連続して同じものを食べたかったのか！

これが食べたかったのか！

ピザポテトください



なげわください

かたやきポテトください

好きなものは知っていたけど、ここまででは分らなかった



決めてもらうことから、自分で決める生活へ

伝えられるようになってから



アイス大好き。でも食べやすいように  
カップアイス

アイスはアイスでも棒アイスが食  
べたい

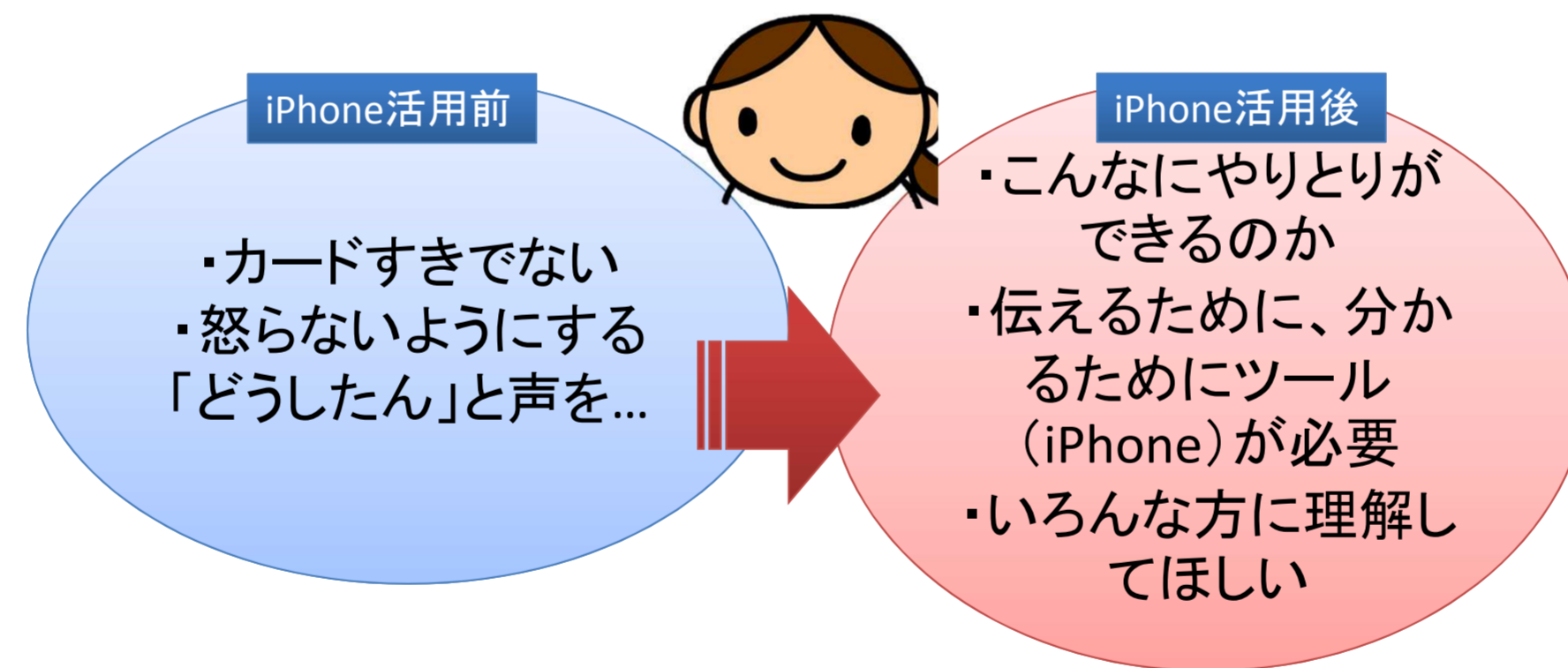


伝えられるiPhoneツールがある

本当に食べたかったものが食べられる

## 家庭での変化

- ・家での怒りも減ってきた
- ・伝えようとする場面が増えてきた
- ・母の意識も大きく変わる





# 校外(買い物)編



# なぜ外で活用するの？

学校や家は決められた場面で、決められた相手にだけ伝えることが多い(狭い世界)

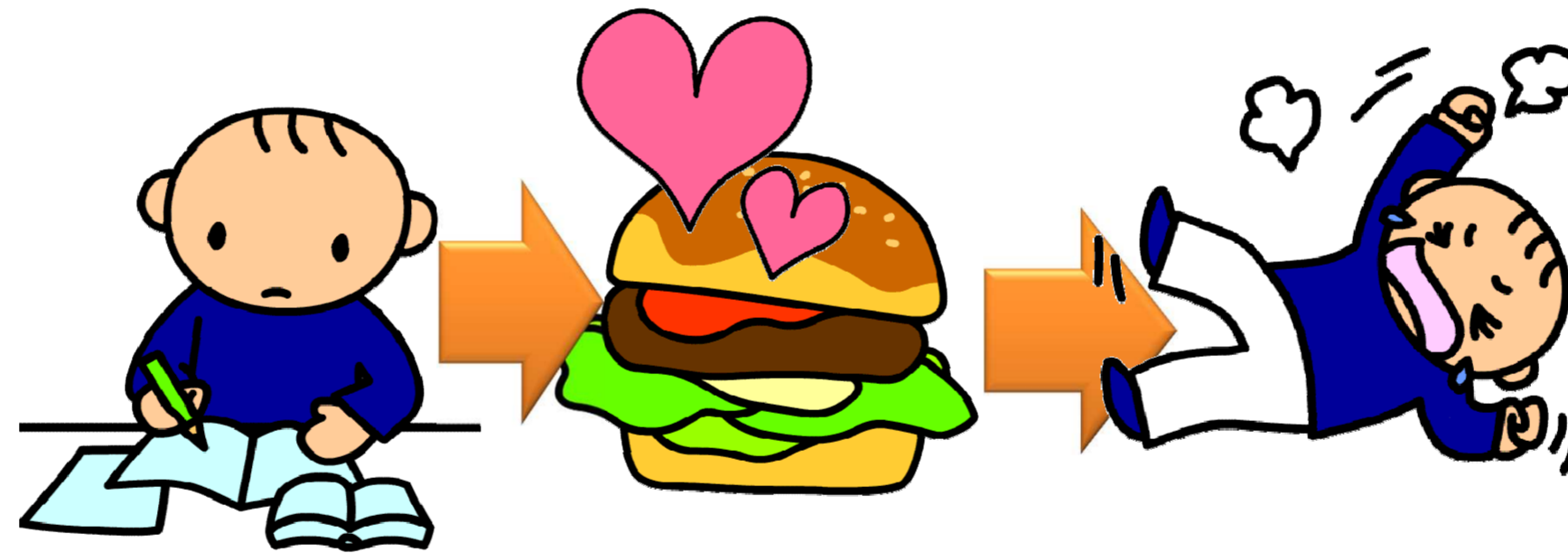
将来、学校からは卒業する日がくる。どう過ごしていくかを考えたい



自分の生活をよくしていきたい人とのかかわりを持ちたい

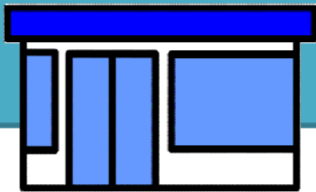
## 昼食注文

大好きなハンバーガー、事前学習していざ注文



怒って泣いて注文できず...

# 買い物(コンビニ)



お金の支払いをしない

おつりを受けとらない

商品を受けとらない

買ったものを持ち帰らない



## 家庭からも買い物では...

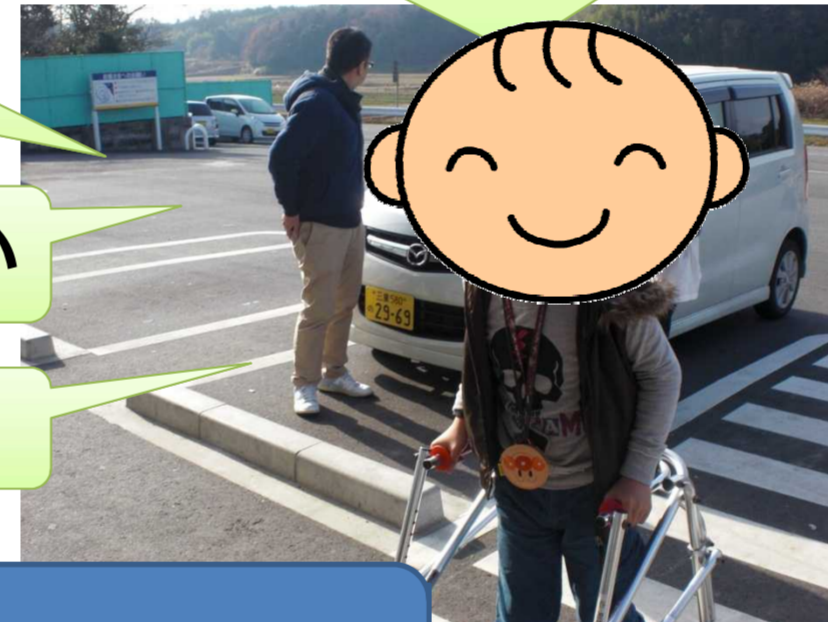
### コンビニ動画

・周りの人に迷惑をかけないように...

・買い物はできないな...

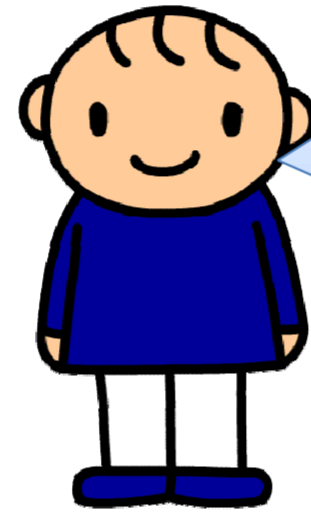
・伝えるなんてできない

・お金なんて支払えない



車で待っていることが多かった...

## iPhoneでやりとり



- ・iPhoneは操作は簡単！
- ・音声も出て、お店の人が分かってくれる  
欲しいもの伝えたら買える

### やりとり

驚くことやiPhoneの画面をもう一度確認することもある・・・けど、  
・「iPhoneってこんなふうに使えるのね」  
自分で買い物ができるんだ！！



## 家庭からの買い物編



## 関係機関(療育センター)





## 療育センター編

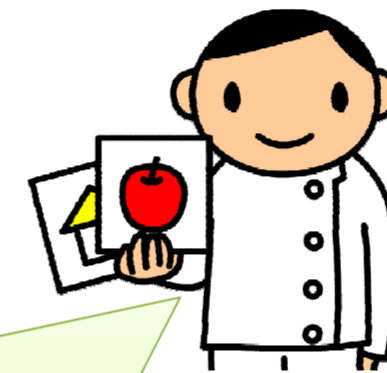
- ・スケジュールに「帰りの会」を追加  
→帰りたい気持ちをアピール

「iPadしたい」「本  
したい」などを伝える

スケジュール  
を見ている

しかし、前回入院の時より  
穏やかに過ごし、怒ったり泣いたりす  
ることが減った

## 療育センター

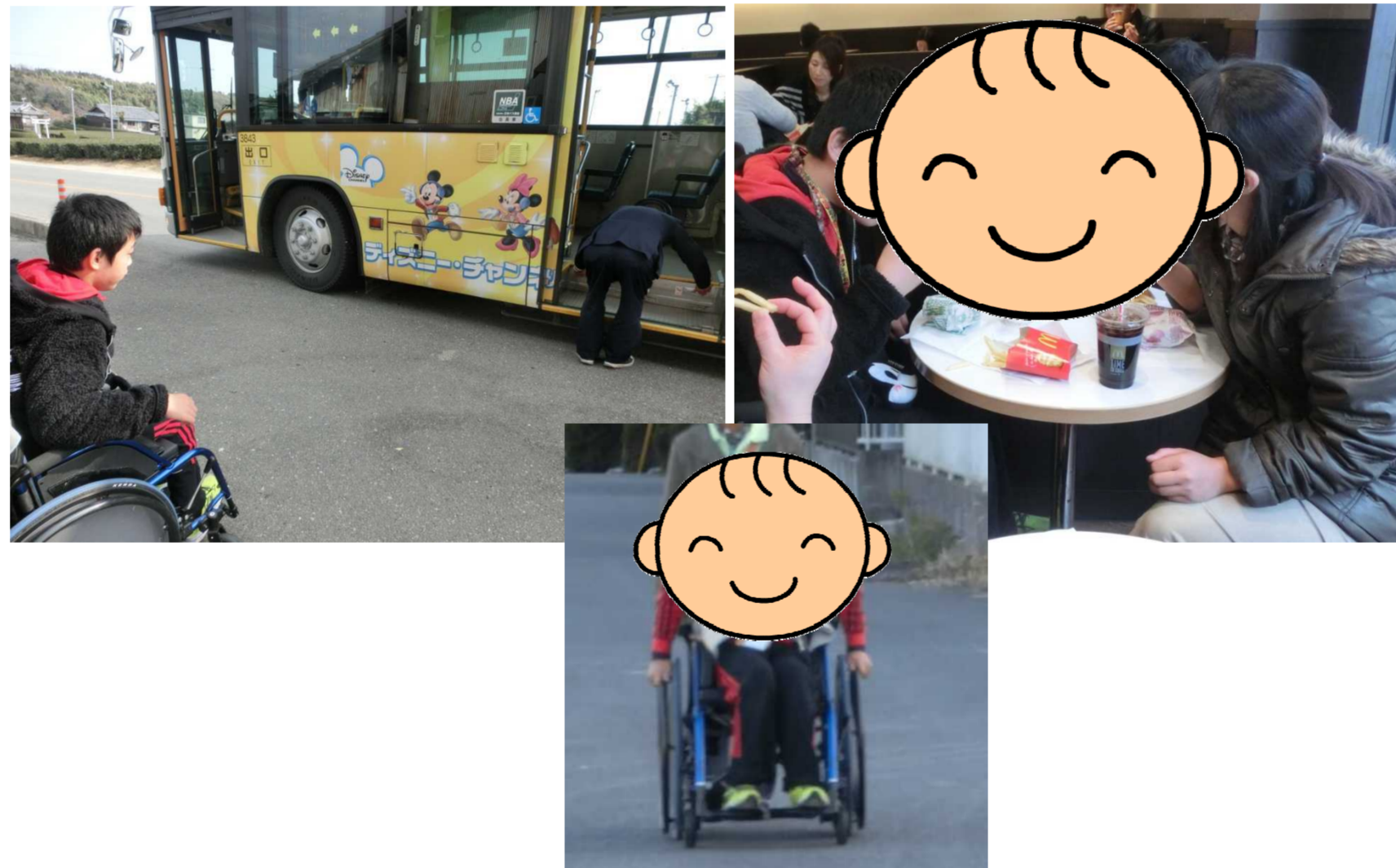


スケジュールの追加の仕方が分からないのですが...

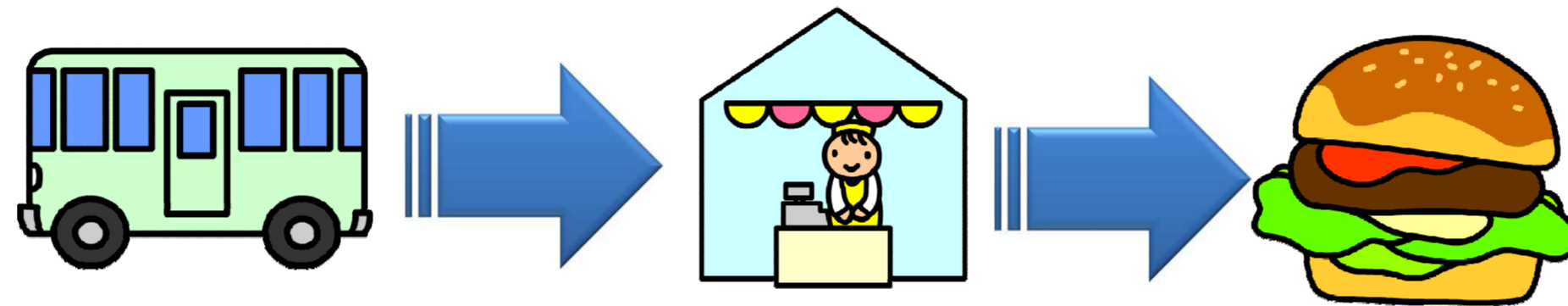


本人に「好きなこと」を追加させて下さい。  
そしたらやり方わかります。

# 移動支援編



## 移動支援



自分の食べたいものを注文

「この先もずっとお店にきたいな～」  
広がる生活！ 広がる幸せ！ 広がるつながり！

# 放課後サービス編



## 放課後等ディサービス編

週2回程度利用  
「おやつ」の時間になると



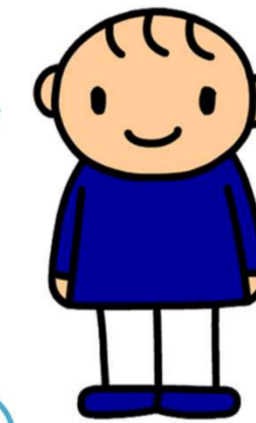
「〇〇さん、おやつ、下さい」

おやつシンボルは職員さんが写真を撮って入れてくれる。

## 放課後等ディサービス



「〇〇さん、エアートランポリンしたい」



遠くにいたら、伝えていても聞こえない。  
「せっかく表出しているのに...これでは  
ストレスになるのでは・・・」

支援会議でも意見として出してくれ、施設内で話をしてもらおう

## 放課後ディサービス



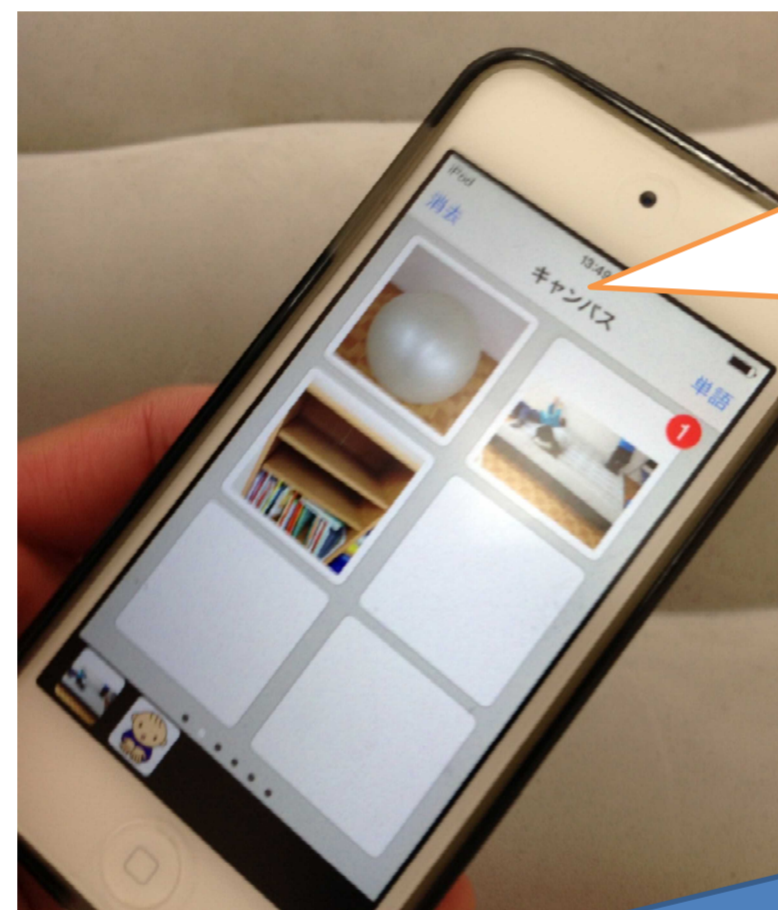
Bluetooth  
スピーカー

どうすれば、伝えている気持ちを  
キャッチできるかを考えてくれた！  
広がる支援の輪☆





## 放課後等ディサービス



学校と同じように「したいこと」を伝えられる



[動画\(空気\)](#)

## こんなこともありました(No2)

職員の人数が限られている

「1/15」です

福祉と教育は違う

中学部で設けられたことが良かった

😊の見学 ありがとうございました。

😊の送りの時、職員の方は「いっちゃん、  
あんなに笑うなあね！ やっぱり伝えるスキルがあるって  
大切だね。」と褒められました。

話し合う機会・時間



## まとめ

「iPhone」ツールがあるからこそ...

- ・買い物ができる
- ・すべきことが分かる
- ・教員や店の人、施設職員、ヘルパーなどやりとりができる
- ・人とのつながりが広がる

自分らしく生きていける

## 課題

- ・担任(学部)が変わることで、やり方や考え方が変わった部分がある。(教員の考え方はさまざま)

- 本人にとって必要なツールであるということが少しずつ理解してもらっている。保護者の願いでもある。

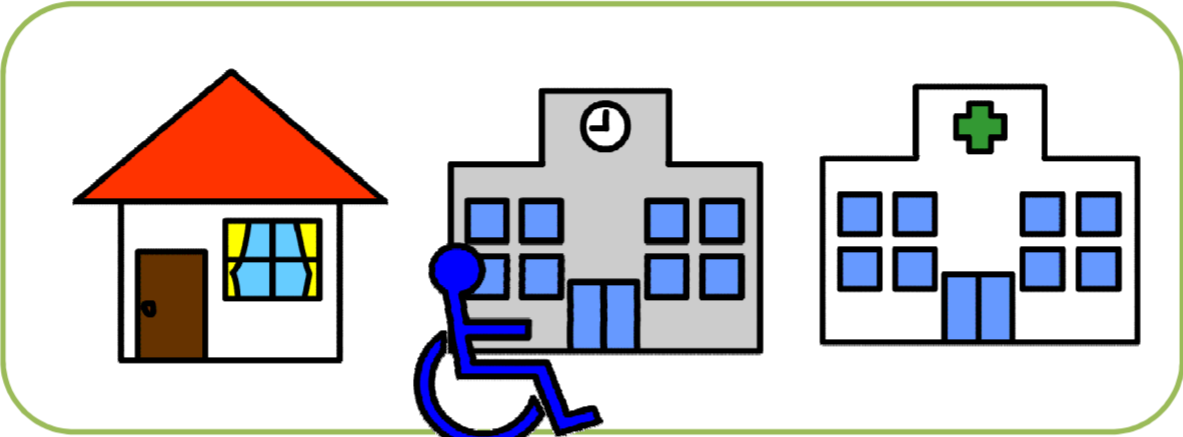
- ・施設や病院などは職員数や目的も違い、できることが限られている現状がある。

- 家庭との連携、本人の自立度を向上させておく必要がある。

- ・ずいぶんタブレットが広がっている。しかしツールとして活用されている事例は少ない。

- 外での活用を広げていきたい。

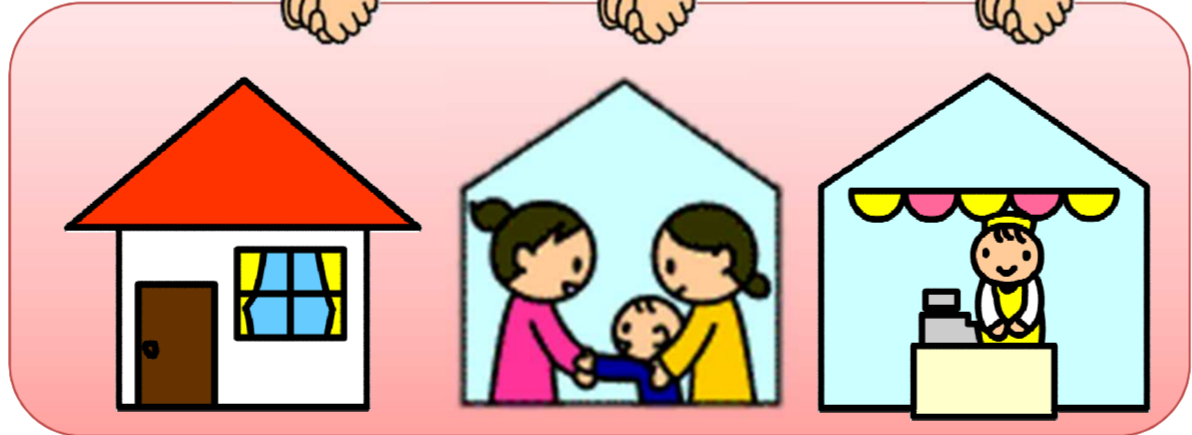




小学部

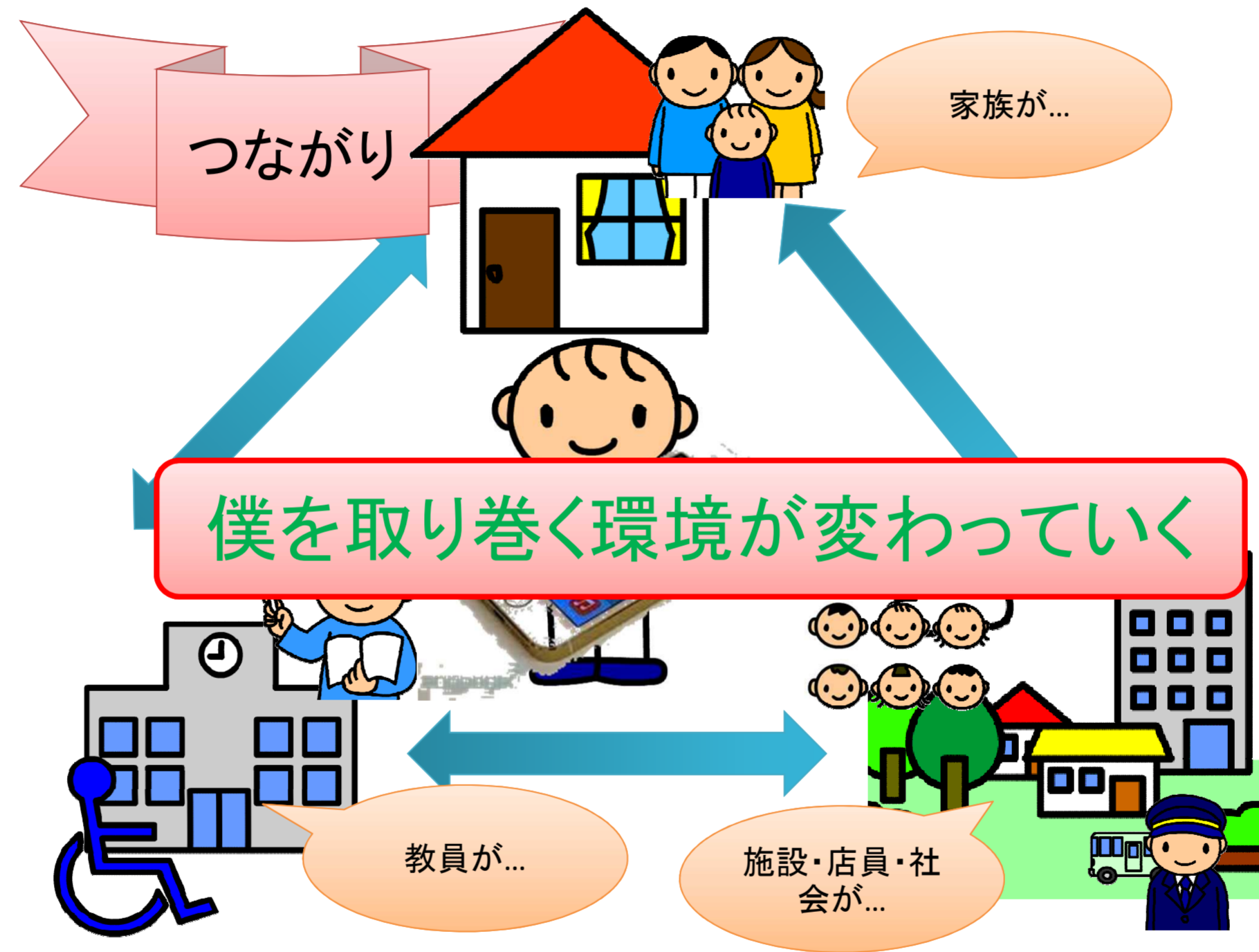
中学部

高等部



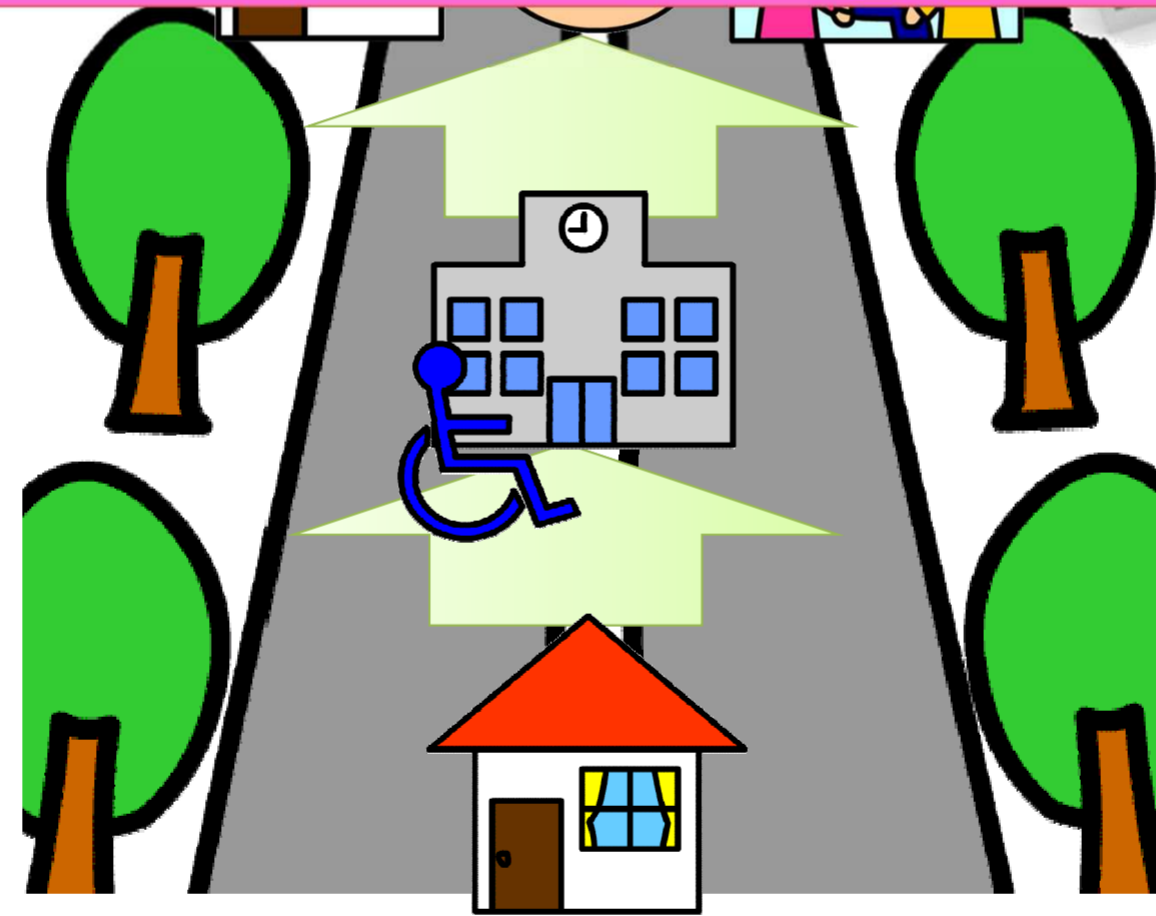
将来の  
自分





## 自分の人生

どこで過ごしても、自分らしく！  
「自分で決める！ やりたいことを伝える」  
やるべきことを知り、人と関わりながら過ごす





ありがとうございました



僕と相手をつなぐ「iPhone」